

第 8 期 事 業 年 度
(平成 2 3 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成23年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,787	5,995	208	
施設整備費補助金	0	0	0	
補助金等収入	0	518	518	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	31	31	0	
自己収入	15,577	16,893	1,316	
授業料、入学金及び検定料収入	642	658	16	(注2)
附属病院収入	14,776	16,074	1,298	(注3)
雑収入	159	161	2	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,633	1,707	74	(注5)
引当金取崩	0	53	53	
長期借入金	1,548	1,548	0	
目的積立金取崩	0	9	9	(注6)
計	24,576	26,754	2,178	
支出				
業務費	20,138	20,880	742	(注7)
教育研究経費	6,310	6,290	△ 20	
診療経費	13,828	14,590	762	
施設整備費	1,579	1,579	0	
補助金等	0	518	518	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,633	1,511	△ 122	(注9)
長期借入金償還金	1,226	1,202	△ 24	(注10)
計	24,576	25,690	1,114	
収入－支出	0	1,064	1,064	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった国及び県からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が518百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として長期履修生の減等のため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、患者数の増及び手術料単価の向上等により、予算額に比して決算額が1,298百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入等については、主として不用物品売払の増等のため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった国の組織、特殊法人からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が74百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、事業が実施されたため、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注7) 業務費については、診療経費において患者数等の増に伴う医療材料費の増加等により、予算額に比して決算額が742百万円多額となっています。
- (注8) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が518百万円多額となっています。
- (注9) 複数年契約による支出年度の差異により、予算額に比して決算額が122百万円少額となっています。
- (注10) 長期借入金償還金については、長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が24百万円少額となっています。